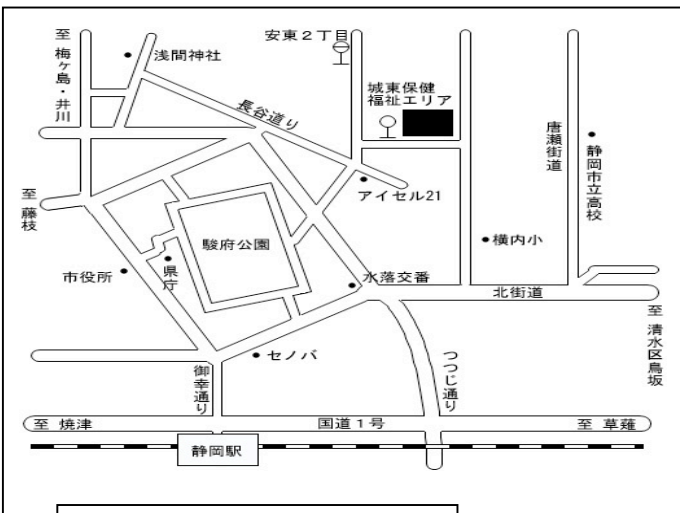


# あんと

2014年11



城東子育て支援センターは子育ての楽しさを共感し合える気軽な遊びの空間になるよう「親子のつながり」を支援しています。



開所時間: 月~金 9:00~16:00(お昼を食べられます)  
<土日祝はお休みです>

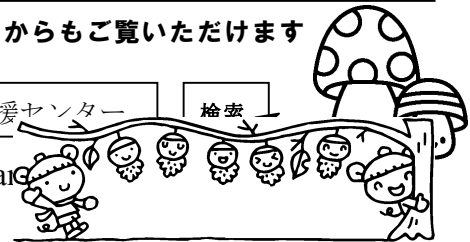
- 指定管理者【NPO法人なのはな】
- ・小規模保育園 **なのはなガーデン** (TEL&FAX 054-253-0443)
  - ・就学前の幼児教育施設 **あおぞらキンダーガーデン**
  - ・発達支援 **まほろば** (TEL&FAX 054-246-2213)
  - ・子育て支援センター **わとと・あおぞら** (静岡市駿河区泉町 4-16-2階 B TEL&FAX 054-284-1320)
  - ・静岡市城東子育て支援センター

☆ホームページからもご覧いただけます


城東子育て支援センター

検索

<http://nanoha10.com>



あんと 11月の予定

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4 身体測定 (希望者全員) 手・足型スタンプを 押そう! (11月生まれ) 10:00~11:30 13:30~15:00	5 子育てママの井戸 端会議③(要予約) *2 10:00~11:30	6	7	8 地域交流まつ り 10:00~15: 00 *1 	9
10	11 子育てママの井戸端 会議④(要予約) *2 10:00~11:30	12 お散歩に行こう! 10:30~11:30	13 ハピママ☆キッズ による手遊びと 読み聞かせ 10:30~11:00	14 子育てママの 井戸端会議① (要予約) *2 14:00~15:30	15	16
17 Ami 助産院さん とタッピングタッチ (要予約) 9:30~11:00	18 企業による商品説明会 大塚製薬 10:30~11:00 (要予約) *3	19 身体測定 (希望者全員) 手・足型スタンプを 押そう! (11月生まれ) 10:00~11:30 13:30~15:00	20	21 子育てママの 井戸端会議② (要予約) *2 14:00~15:30  避難訓練 11:00~11:15	22	23
24	25 みんなで一緒に歌 を歌おう♪ 11:00~11:15	26	27 企業による商品説明会 和光堂 10:30~11:30 (要予約) *3	28 お散歩に行こう! 10:30~11:30  子育てママの 井戸端会議③ (要予約) *2 14:00~15:30	29	



- \*1 11/8(土)は、地域交流まつりのため、開所します。
- \*2 子育てママの井戸端会議は、前月からの3、4回目11/5、11は、予約締め切りしました。11/14、21、28(金)12/4(木) 全4回、定員6名 要予約です。4回出席できる方が優先になります。
- \*3 静岡県「子育ては尊い仕事」具現化モデル事業 企業による商品説明会/開発のための試食、意見・アイデアの提供者を募集しています。要予約、定員25組  
♪警報発表時：子ども達の安全を考え、状況によってセンター行事等を中止する場合があります。

まほろば

☆発達相談・育児相談に対応します・・・

臨床発達心理士がフロアーにいます。どんな小さな悩みでも、お気軽にスタッフへ声をかけてくだ  
個別相談もお受けします。時間：10時～12時 13時～15時

臨床発達心理士より

ひとまずお赤飯 ～反抗期(いやいや期)の対処法～

先日ある児童精神科医の先生のお話を聞きました。とってもユーモアな先生で、会場は笑いに包まれて楽しく学ぶことができました。そこでの話。こどもが反抗したら……。ズバリ、『叱らずにお赤飯!』『悩まずにお赤飯!』……どういうこと!?

これは、「反抗=成長して反抗できるようになった証」として、成長を祝おう♪ということ。なるほど～。

・・・まあでも、親は祝うなんて頭に浮かばないくらい大変で悩むのですが。ではなぜ悩むのか。それは、反抗する我が子を前に、このままではわがままになってしまうから、しっかりしつけないと!・・・という親心からです。

でも、反抗期の自己主張とわがままは違います。自分が出せる!ということ自分を自分で確かめたいし、ひとにも認めてもらいたいだけなのです。この時期に、安心できるひとの前でいっぱい自分を出して、存在を認めてもらうことで、徐々に自我を押さえるところが育ちます。だから無理に正そうとしなくても大丈夫なのです。

お赤飯の話は、ただ「お祝いしてね」ということではなくて、「お赤飯だすくらしいの余裕を持ってね」ということです。そうすれば、こどもが何をしても親はぶれないという威厳と安心感を伝えつつ、こどもの存在と成長も尊重できます。

